

障がい者全般を対象としたアンケート結果について

1. アンケート概要

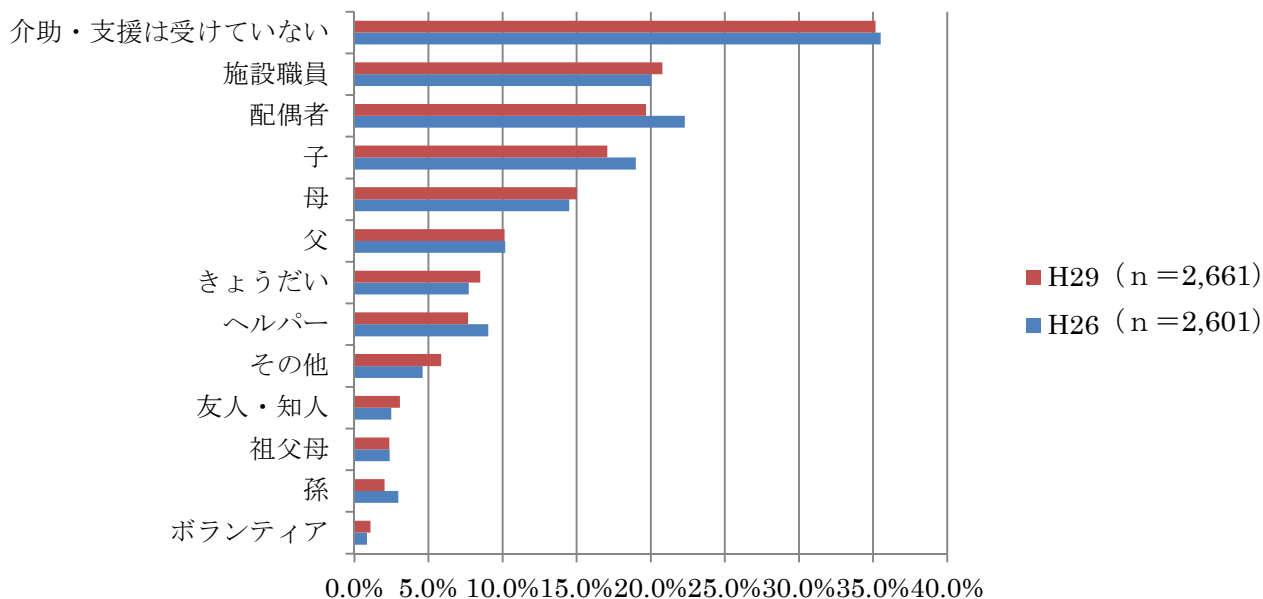
- ・対象者：障がい者手帳所持者等（49,152人）
- ・抽出者：対象者を母数として1割を無作為抽出（4,914人）
- ・期間：平成29年6月21日～7月13日
- ・方法：郵送
- ・回収率：54.2%（H26調査：54.4% H23調査：62.0% H17調査：56.9%）
- ・内訳：

区分	対象者 (人)	抽出者 (人)	回答数 (人)	回収率	備考
身体	30,086	3,008	1,678	55.8%	身体障害者手帳所持者から抽出
知的	5,374	537	288	53.6%	療育手帳所持者から抽出
精神	5,738	574	273	47.6%	精神保健福祉手帳所持者から抽出
発達	1,044	104	25	24.0%	JOIN利用者から抽出(※)
難病	6,910	691	397	57.5%	特定医療費受給者から抽出
合計	49,152	4,914	2,661	54.2%	

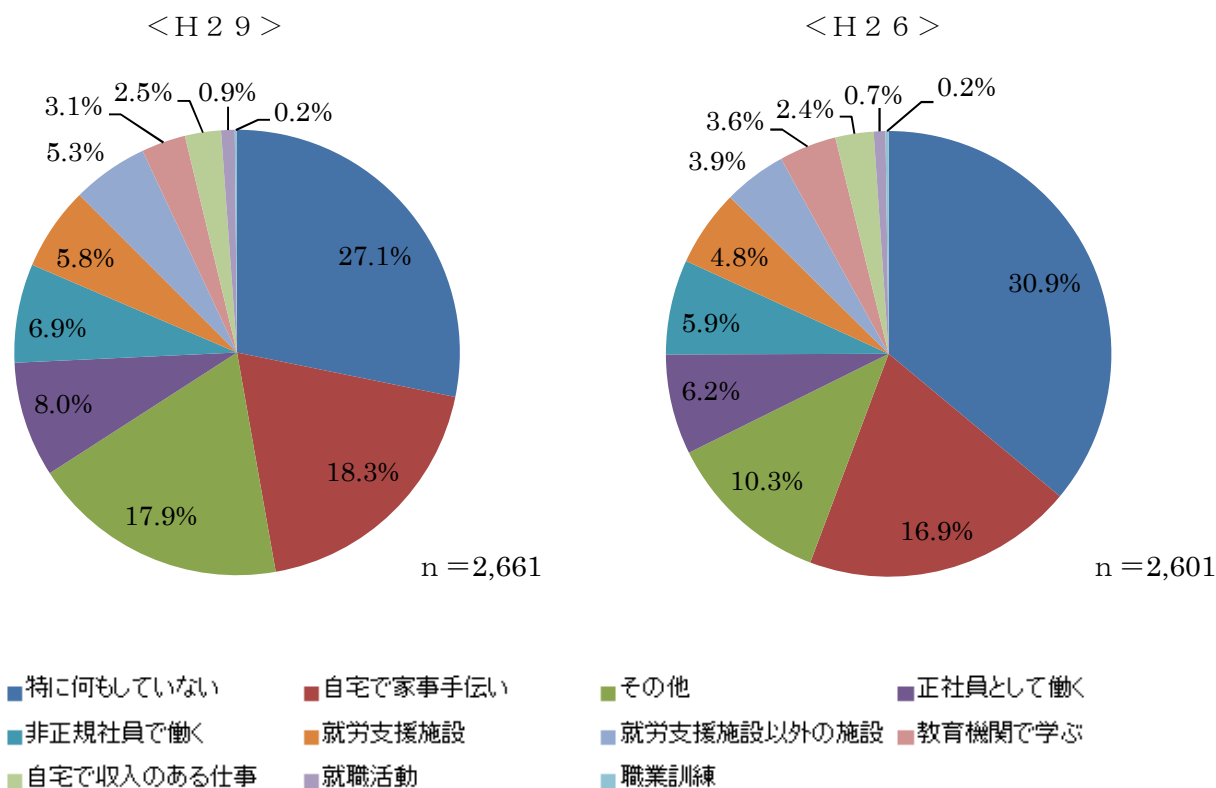
※JOIN（新潟市発達障がい支援センター）の平成28年度利用者から1割を抽出

2. 項目別回答状況

問1 あなたは普段の生活で誰から介助・支援を受けていますか（複数回答）

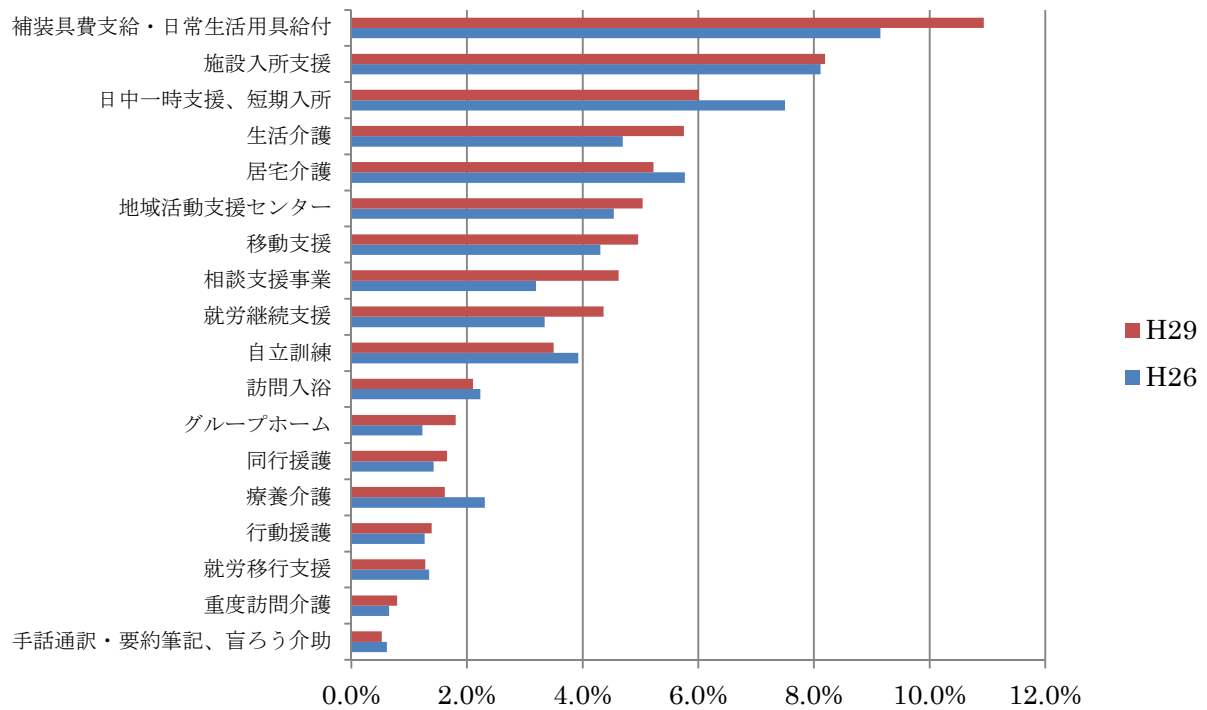


問2 あなたは普段、平日の昼間をおもにどのようにして過ごしていますか。

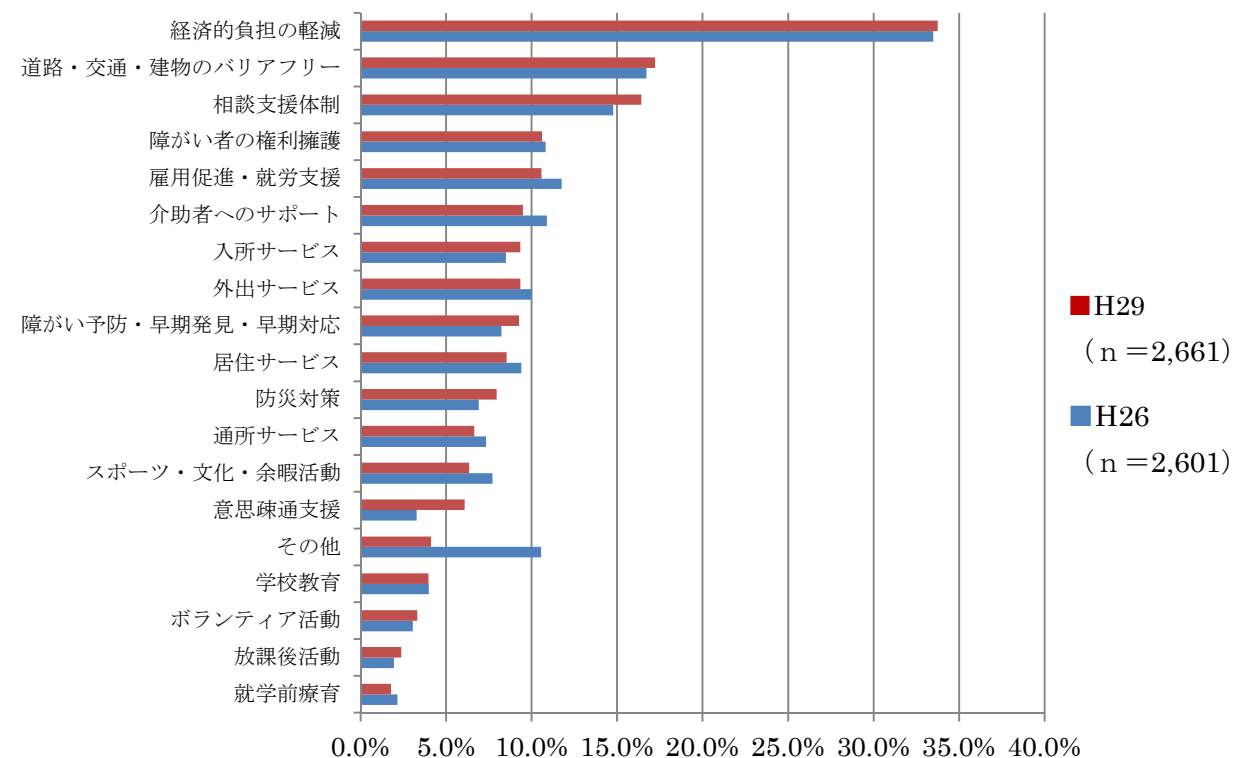


- ・「特に何もしていない」が最も多いが、前回調査時よりは減少〔-3.8%〕
- ・就労に関する活動をして過ごしている人が増加〔+7.2%〕
 (正社員として働く, 非正規社員で働く, 就労支援施設, 自宅で収入のある仕事, 就職活動, 職業訓練の合計)

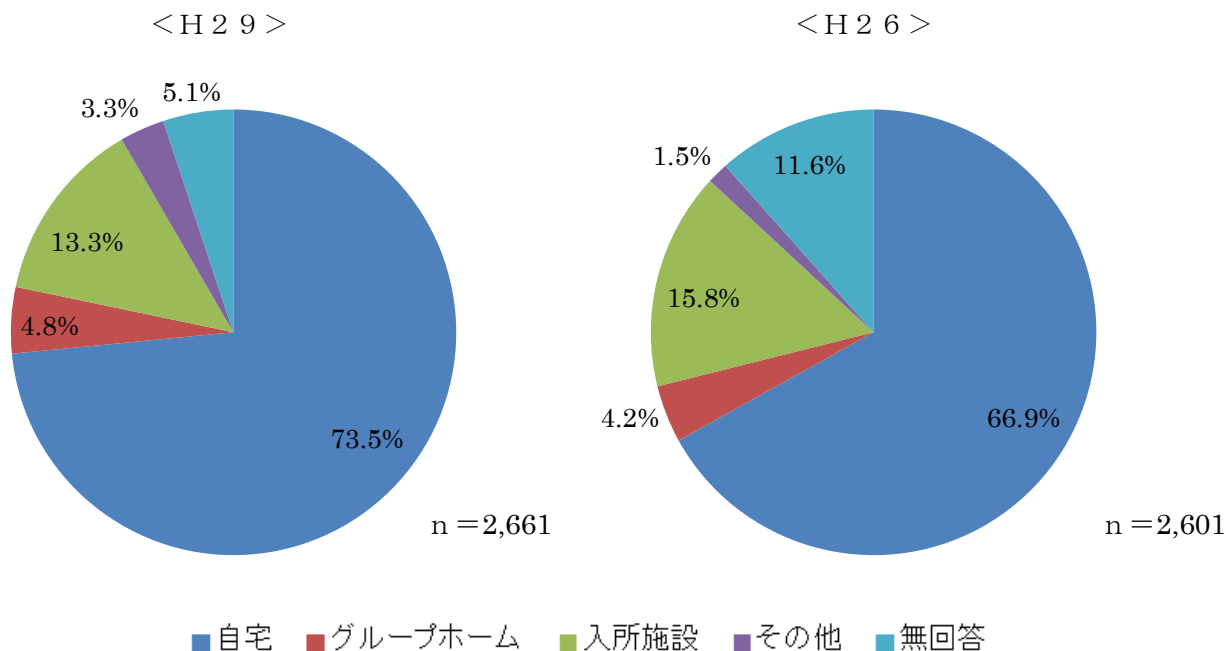
問3 あなたが現在利用している福祉サービスは何ですか（複数回答）



問4 新潟市の障がい福祉施策の中で、あなた自身が改善ないし拡充してほしいと思うことはありますか。（複数回答）

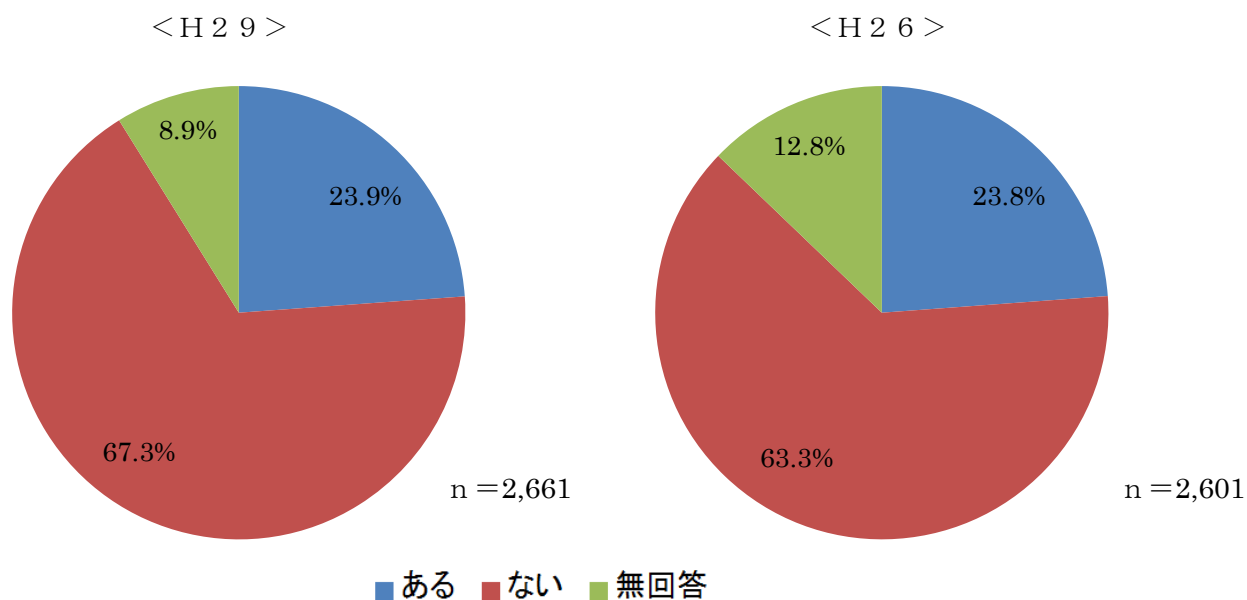


問5 あなたは将来、どのような場所で暮らしたいと思いますか。



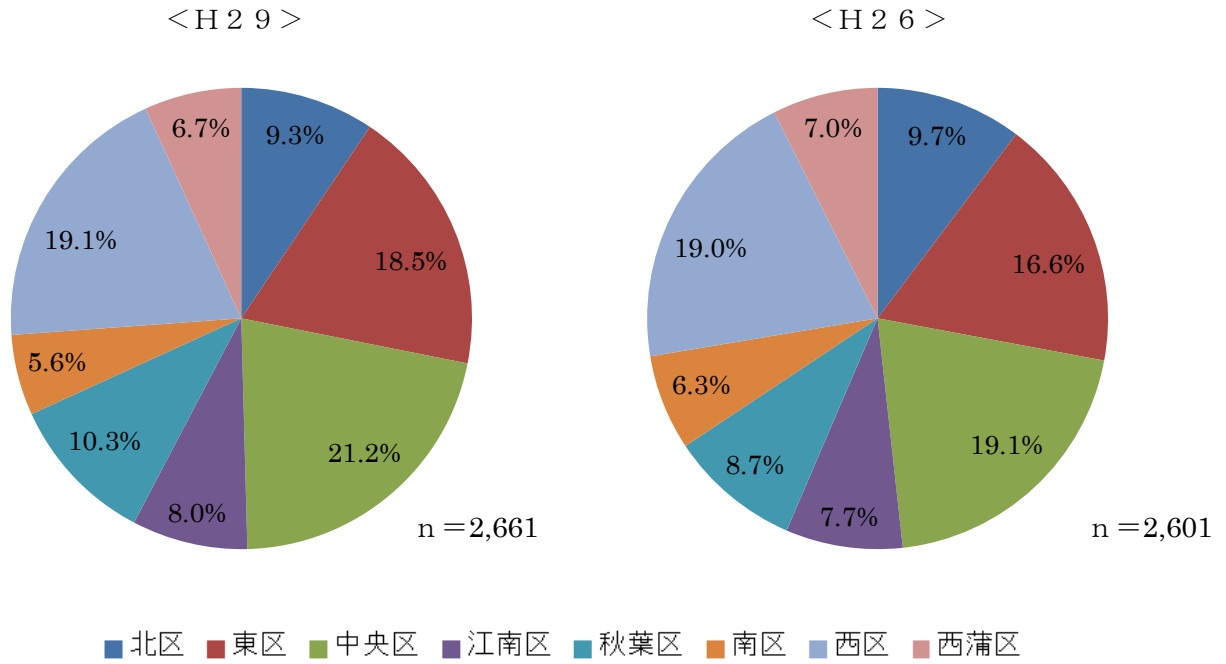
・ 自宅で暮らしたいと考える人が増加 (+6.6%)

問6 あなたは障がいを理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたりしたことがありますか。

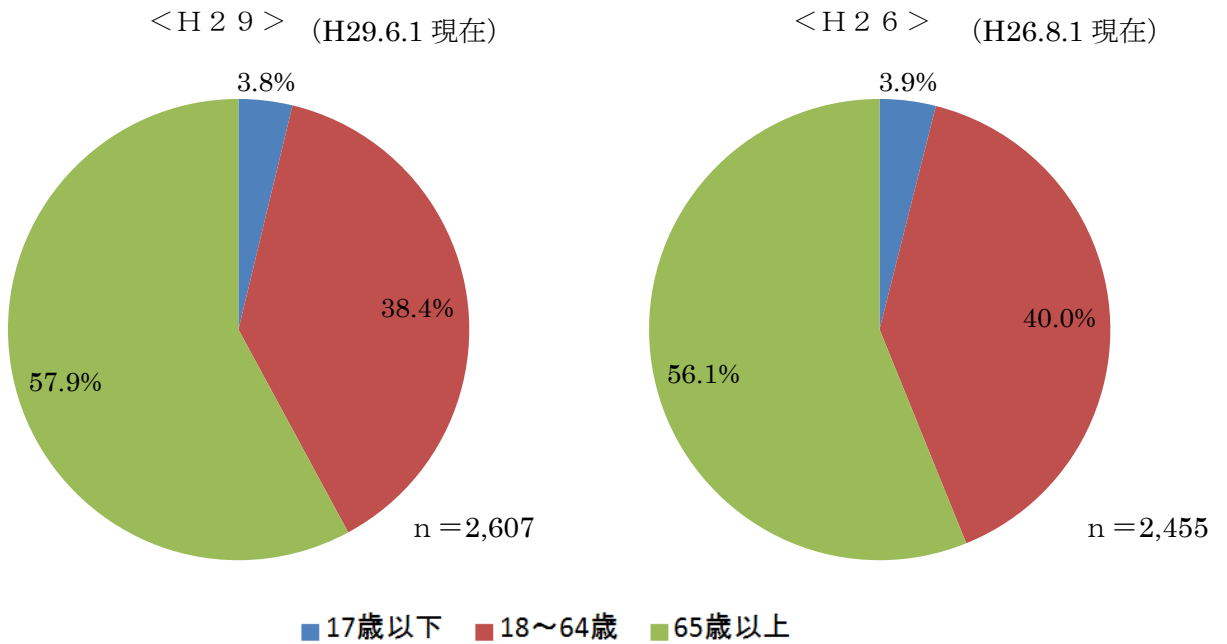


・ 「ある」と答えた人はほぼ変わらない。
 ・ 「ない」と答えた人が増加 (+2.6%)

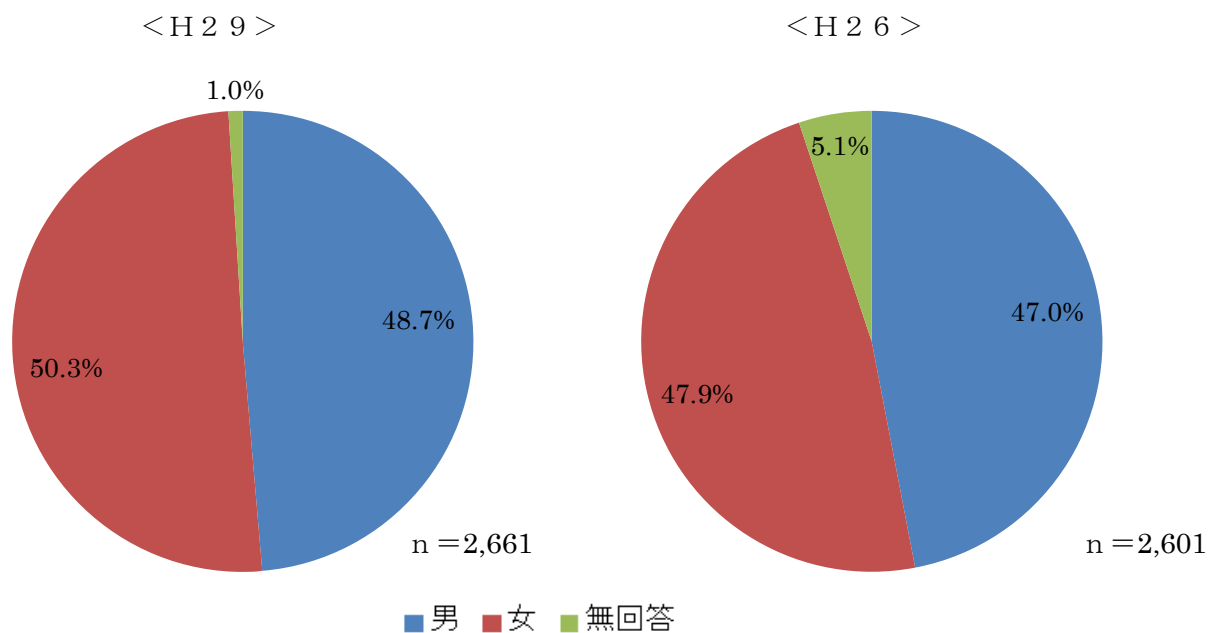
問7 あなたの現在のお住まいの区はどこですか。



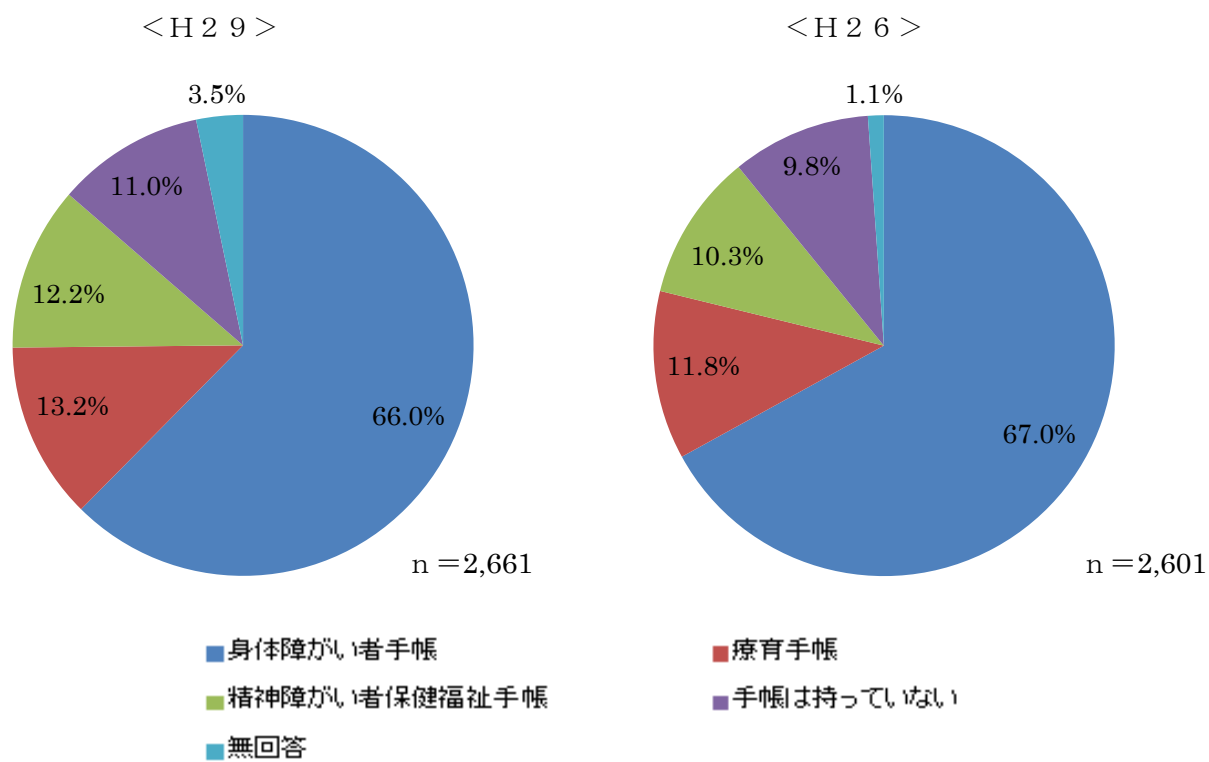
問8 あなたの年齢を教えてください。



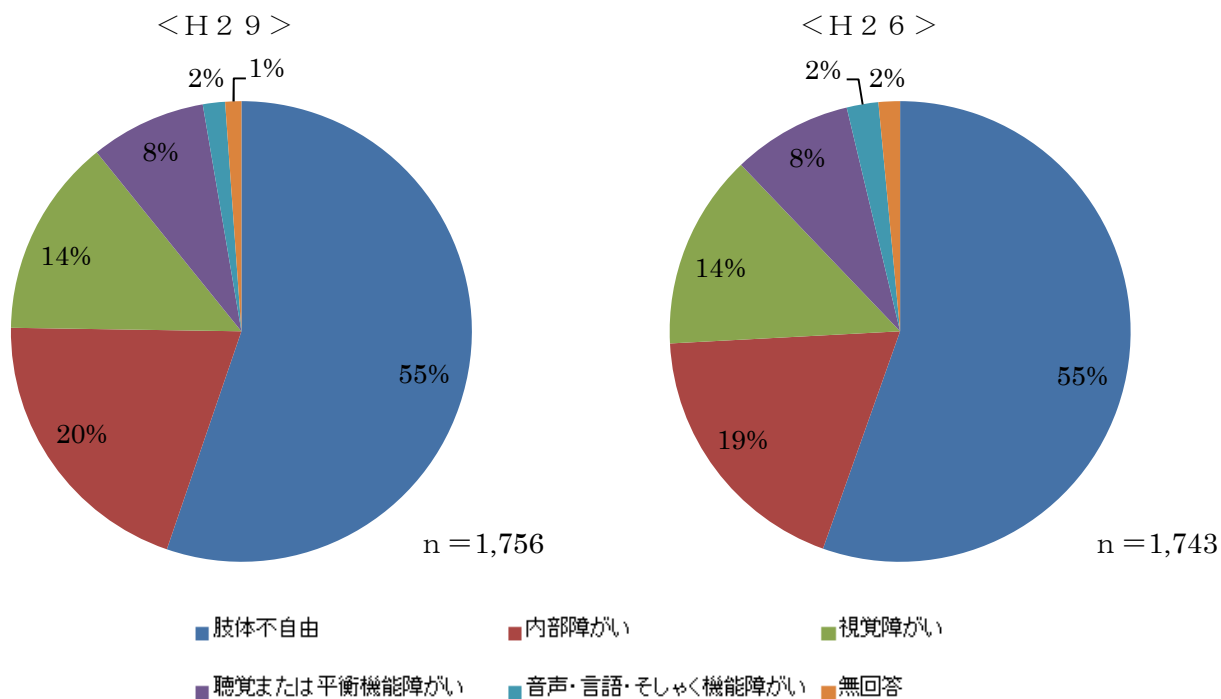
問9 あなたの性別を教えてください。



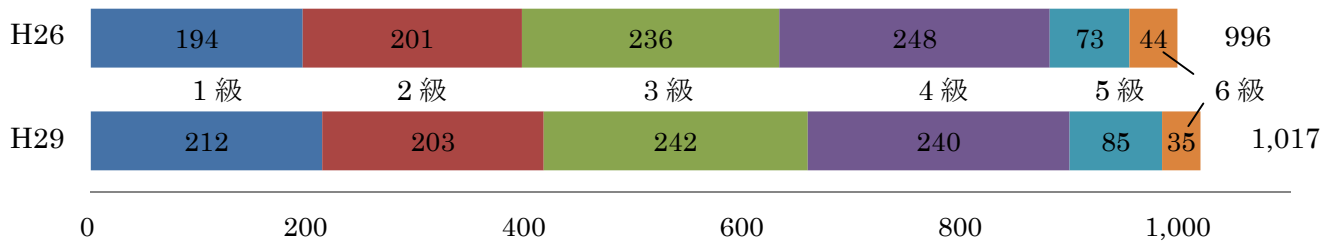
問10 あなたがお持ちの手帳の種類と等級について教えてください。



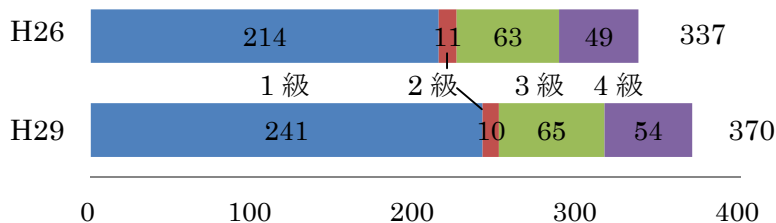
(身体障がい者手帳の内訳)



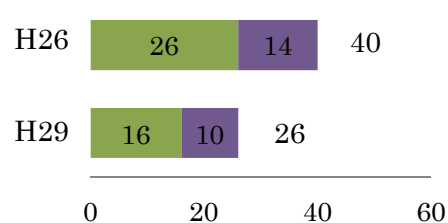
(肢体不自由)



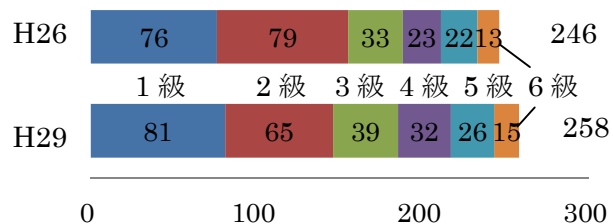
(内部障がい)



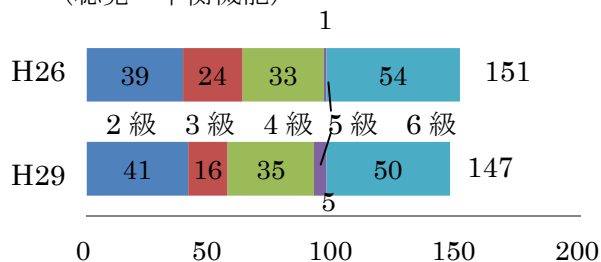
(音声・言語・そしゃく)



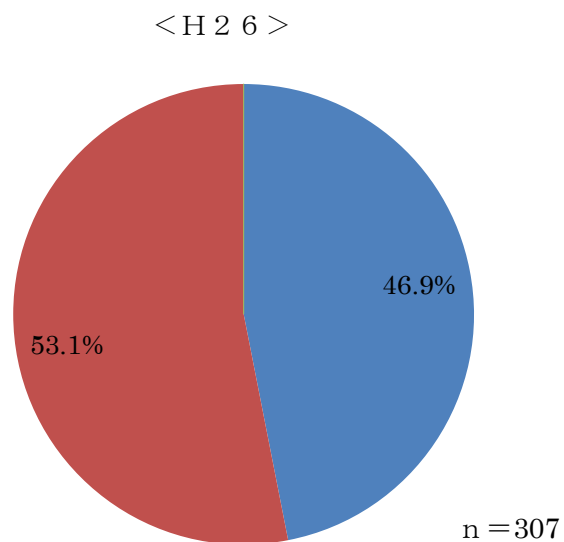
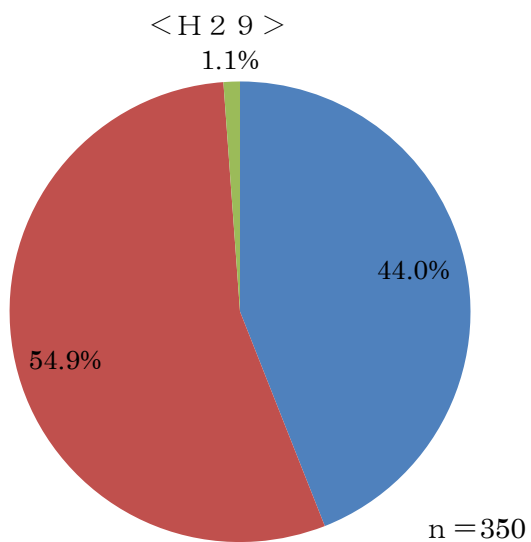
(視覚障がい)



(聴覚・平衡機能)

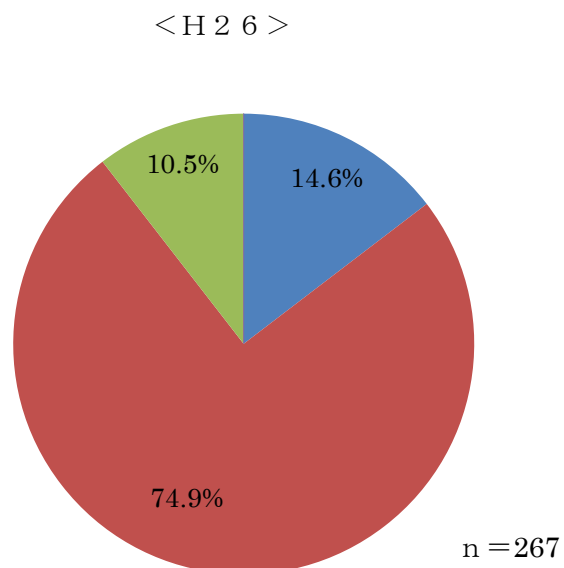
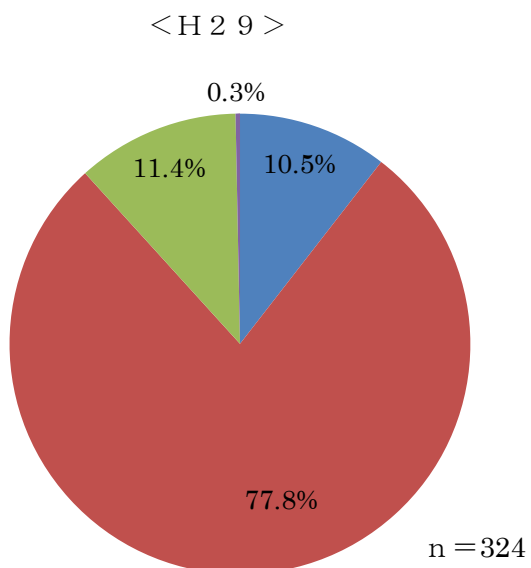


(療育手帳の内訳)



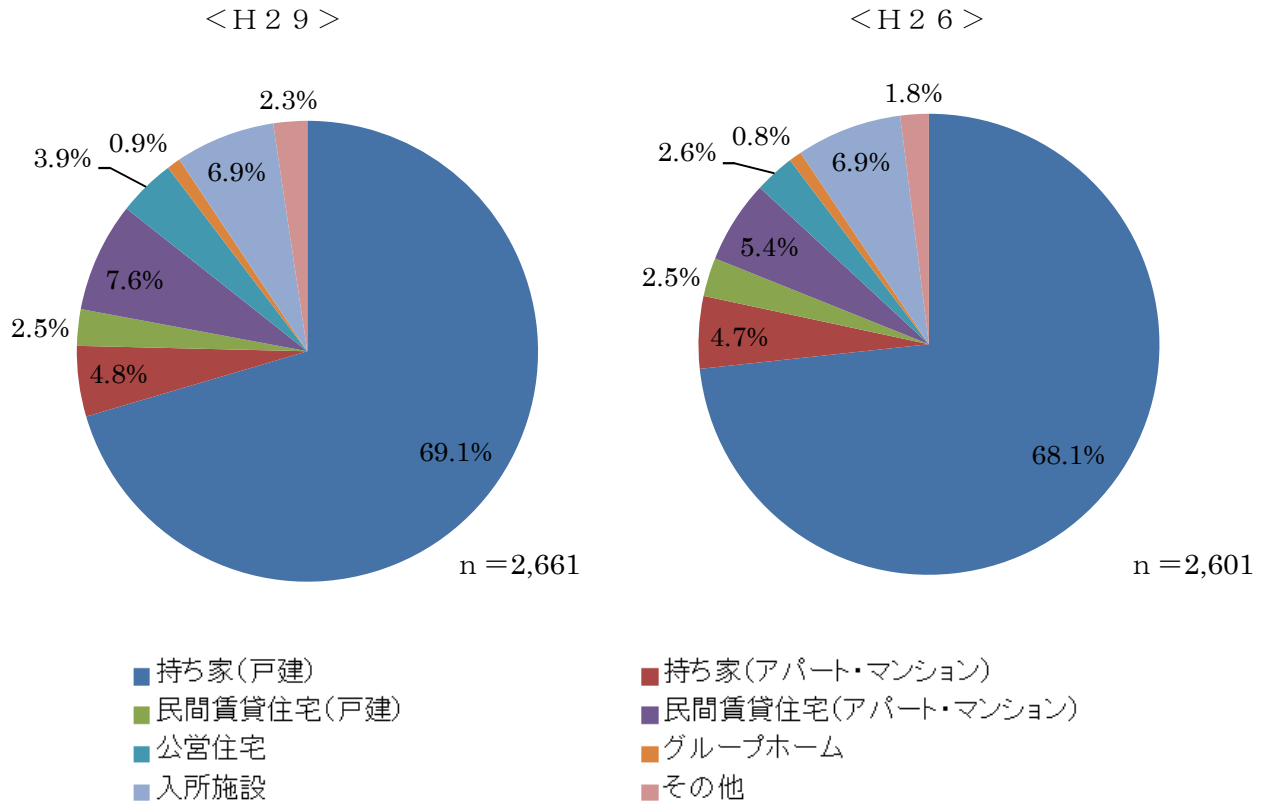
■ 療育手帳A ■ 療育手帳B ■ 無回答

(精神障害者保健福祉手帳)

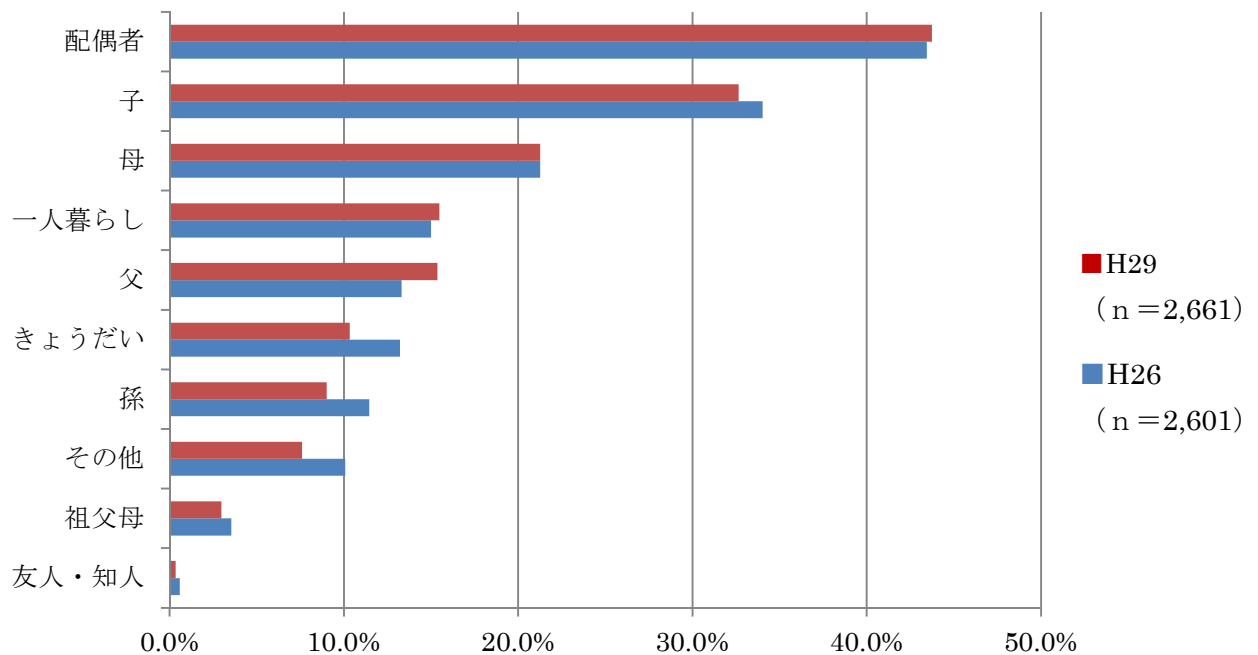


■ 1級 ■ 2級 ■ 3級 ■ 無回答

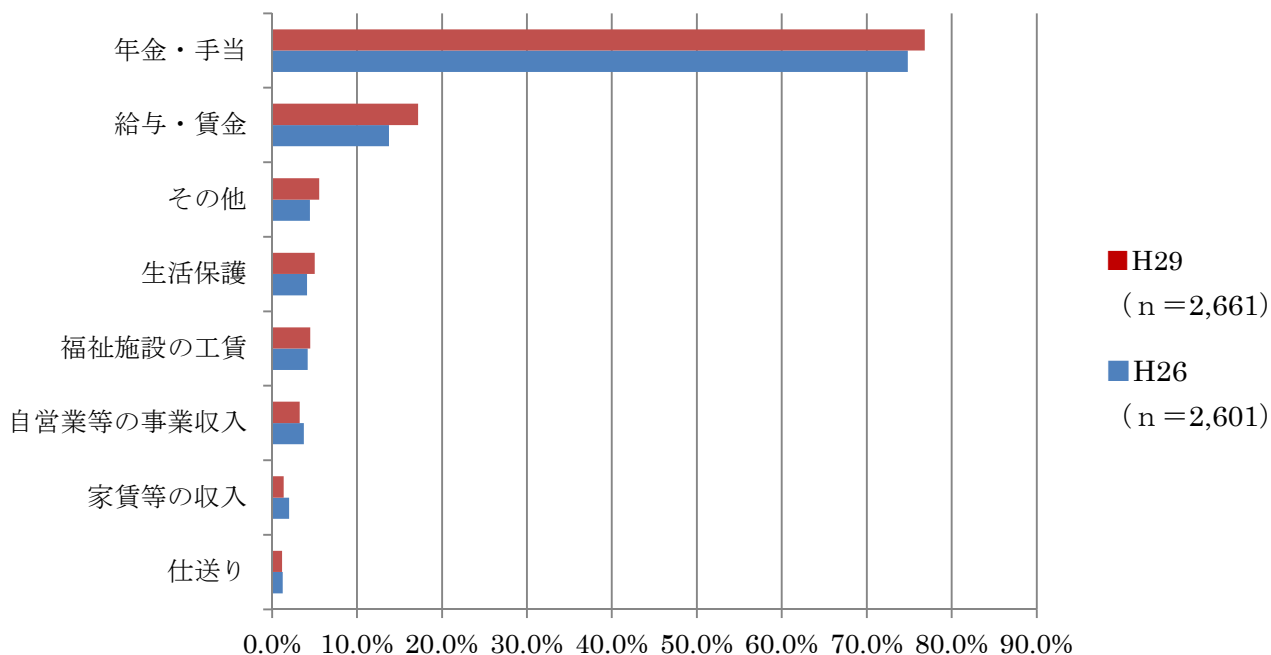
問11 あなたの現在のお住まいは次のどれでしょうか。



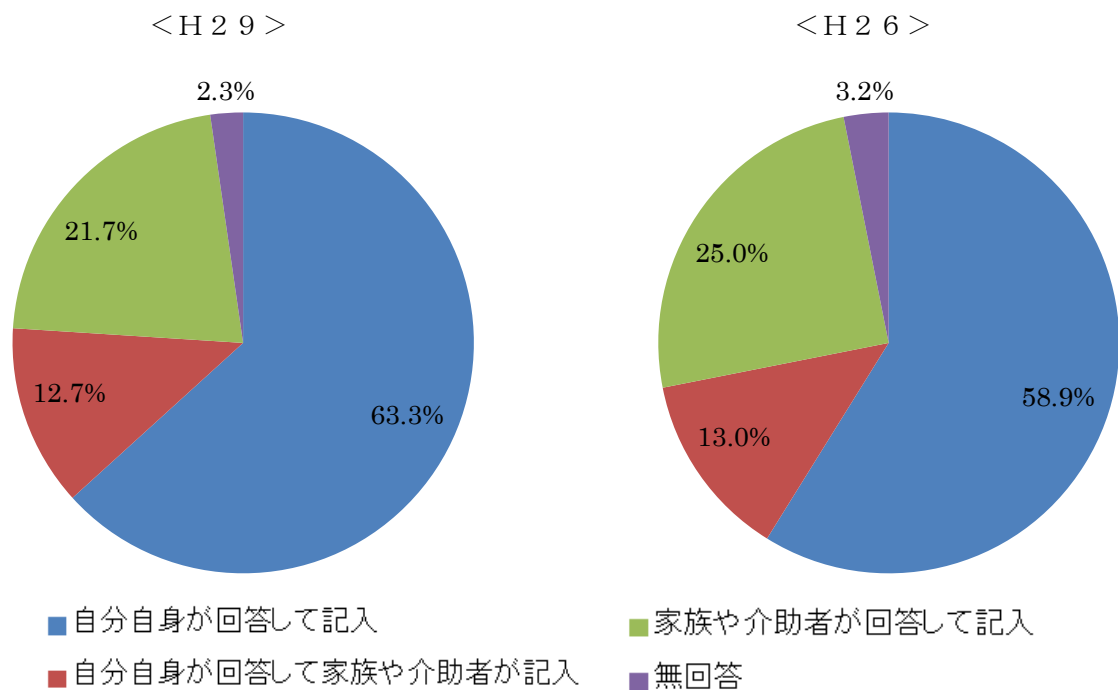
問12 あなたが現在一緒に住んでいる方はどなたですか。(複数回答)



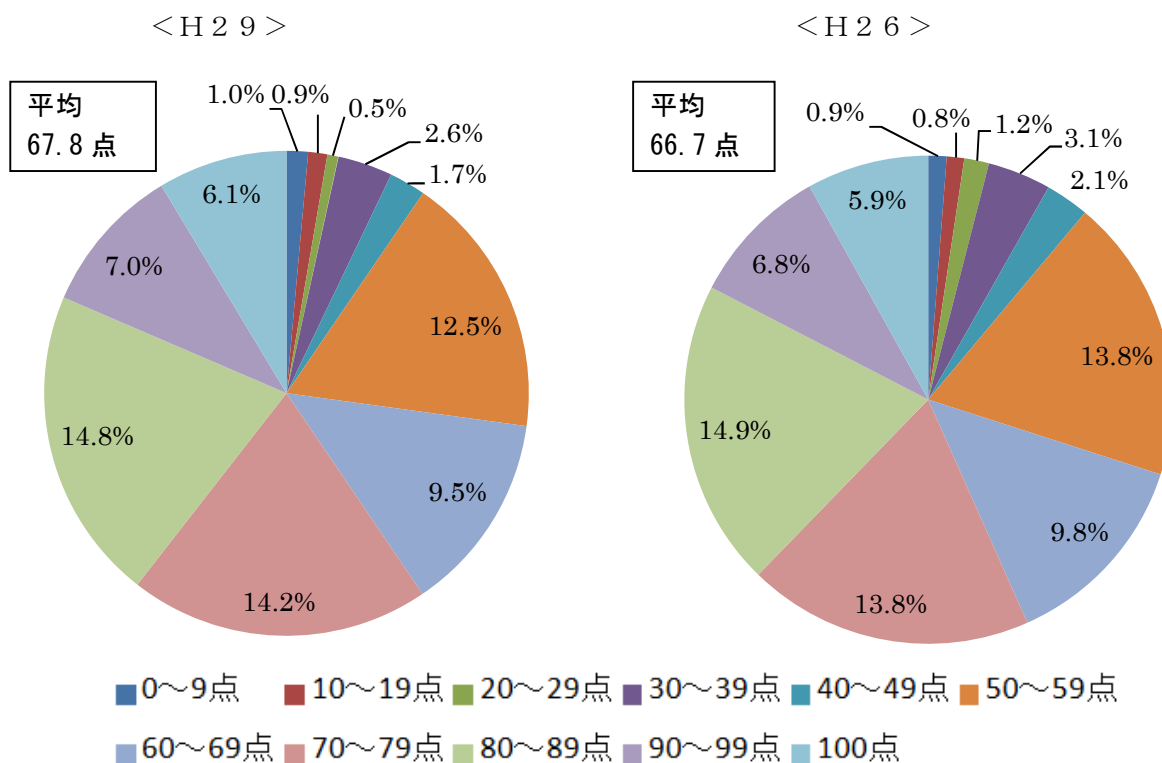
問13 あなたが得ている収入源は次のうちのどれでしょうか。(複数回答)



問14 この調査票の回答と記入はどなたが行いましたか。

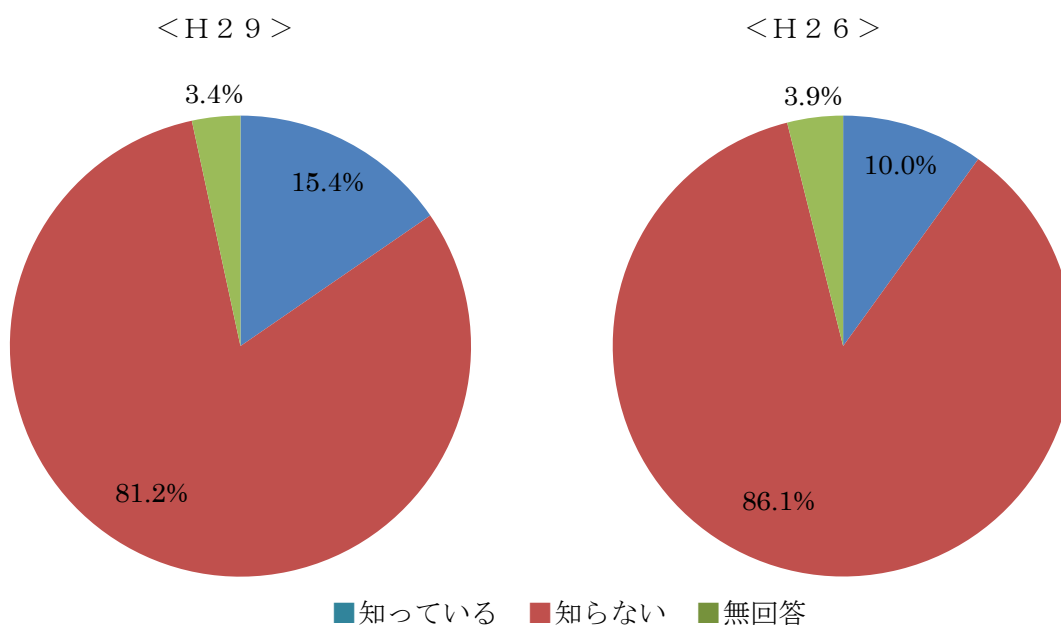


問15 新潟市の今の障がい者施策全般について、あなたの満足度を100点満点であらわすと何点になるでしょうか。



・平均点が向上 (+1.1 点)

問16 「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の認知度



・認知度が向上 (+5.4%)